

# TOPICS

～「おち辰哉」の活動内容をご紹介～  
活動速報はホームページをご覧ください。



おち辰哉  
公式ホームページ

## 勝田マラソン給水ボランティア (1/28) ▶

第73回勝田全国マラソン大会。今年は冷たい北風が吹くなかでの活動でしたが、労働組合の方々と一緒に約18km地点に給水所を設置し、ランナーの皆さんにキンカンやミニトマトなどの物資を提供しながら、精一杯応援しました。



沿道でキンカンなどの物資を提供

# VOICE

～リレーで綴る  
村民の声～



## 編集後記

私たちの世代が生まれた1970年代前半。当時は、日本列島が狂乱物価に揺れた第1次オイルショックの真っ只中だった。トイレトペーパーの買い占め騒動など、エネルギー供給の不安が人々の暮らしを根底から揺さぶった時代だったとの映像をテレビで見たことがある。

あれから約50数年、半世紀もの時を経て、私たちは再び同じような不安定な国際情勢と経験したことの無いエネルギー危機に直面している。

「歴史は繰り返す」と言われるが、かつてのオイルショックを知る世代も、それを歴史として学んだ世代も、等しく今の物価高騰、先行きの不透明さに不安を抱いている。

半世紀前の日本が、多くの困難を乗り越えて発展を成し遂げたように、今この局面をどう乗り越え、どう次の世代へと繋いでいくか。みんなの知恵が必要なき時ではないか。(す)

運転歴30年以上になりますが、今も安全運転を第一に心がけています。

それでも交差点では歩行者と車が交錯し、不安を感じる場面があり、特に通学時間帯は注意が必要です。

歩車分離式信号が増えれば、運転する側も歩く側も安心できます。事故のないまちづくりのため、東海村での導入拡大を要望します。

ぜひ検討をお願いします！

渡部 久美子さん (舟石川在住)



我が家の愛犬たち

# わかば通信

## おち辰哉

東海村議会議員

第73号

2026年春発行

発行人：おち辰哉後援会

日立市幸町2-13-6  
(日立製作所労働組合 日立国分支部内)

TEL 0294(26)0183  
FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。  
新しい年度となる令和8年度がスタートしました。  
皆さまご自身やご家族で、それぞれ新しい職場や学校など新たな環境で新年度を迎えた方も多いかと思えます。  
東海村議会も、今任期4年間の折り返しを迎えたことから、正副議長の交代や常任委員会の変更など、新しい役割が決まりました。  
直面する物価高への対応など、暮らしの課題解決に向けて、引き続き積極的に取り組みます。

越智辰哉



久慈川沿いに咲き誇る菜の花

# NEWS

～東海村行政の身近なニュースをお伝えします～



## 道路の浸水状況把握を拡充

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、浸水の状況を速やかに把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。

そこで、国土交通省では「浸水センサ」を用いてリアルタイムで浸水状況を把握する仕組みの構築をめざしており、民間企業や自治体などの関係者がセンサを設置し、情報の収集・共有の有効性などの実証実験を行っています。

東海村では、令和7年度からこの実証実験に参加しており、村内の幹線道路など5箇所にセンサを設置していますが、令和8年度はさらに10箇所に追加設置し、浸水情報の状況把握を拡充する予定です。

なお、センサから得られた情報は国土交通省の実証実験ホームページに一般公開されている「浸水センサ表示システム」から閲覧することが出来ます。



10箇所に追加設置



国土交通省ホームページ

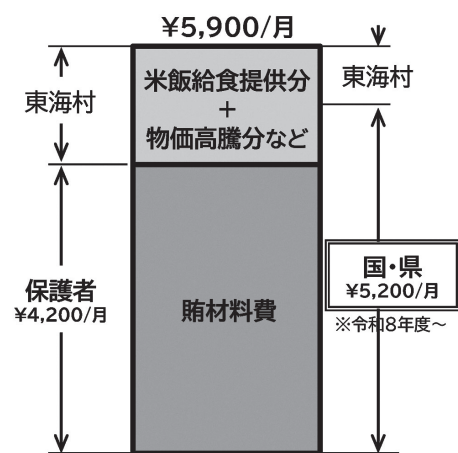
# 小学校の給食無償化など 一般会計222億円を可決

令和8年3月定例会を3月2日から26日までの会期で開きました。

今議会では、国の「給食費負担軽減交付金」を活用した小学校の給食無償化を含む令和8年度予算案など全23件の議案について慎重審議し、すべて原案のとおり可決しました。



小学校の給食無償化を実施



学校給食の負担については、提供する食材費として小学校では¥4,200/月、中学校では¥4,600/月を保護者が負担し、東海村産の精米の購入費や食材費の物価高騰分などを東海村が負担しています。全国の自治体で「学校給食の無償化」を導入する事例が広がり、住民からのニーズも高まっていたが、本村では一貫して「国の動向に沿って対応する」という方針が示されてきました。

こうした状況のなか、国において「児童1人あたり月額¥5,200を基準額とする給食費負担軽減交付金」が創設され、国の支援策が具体化されることから、**令和8年4月より小学校の給食無償化を実施**します。

なお、差額分となる食材費の物価高騰分などについては、引き続き村が負担することを継続します。

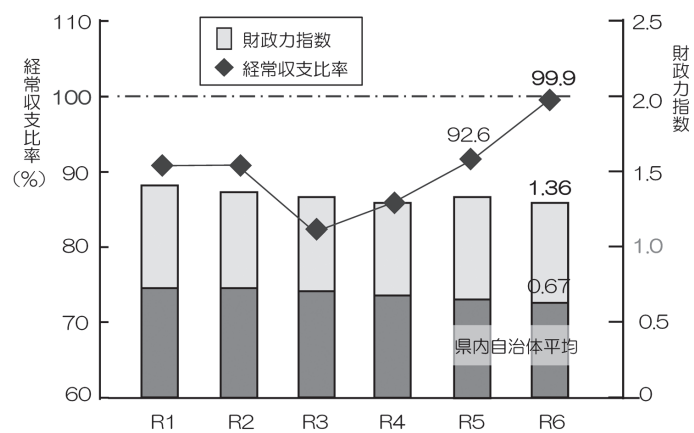
## 本村の財政は曲がり角？

令和8年度一般会計の予算規模は222億円であり、前年度から8.2%減少したものの、依然として大型の予算編成が続いています。

一方で、本村の主な財政指標である経常収支比率は、ここ数年上昇傾向であり令和6年度決算で99.9%に達しています。これは、人件費や扶助費、公債費といった「削ることが困難な固定費」が税収などの「経常的な収入」とほぼ同額であることを示しており、財政の弾力性が極めて失われている状況にあると言えます。

令和7年3月末、本村は村発足70周年を迎えましたが、祝賀ムードの裏側でかつてない財政の曲がり角を迎えており、既存事業のスクラップ&ビルドを本格的に実施する必要性を強く感じます。

経常収支比率 =  $\frac{\text{人件費、扶助費など毎年支出される経費}}{\text{地方税など毎年安定して入る収入}}$



▲本村の主な財政指標の推移

## 令和8年度の新規・重点事業

### ● 防災拠点施設の整備促進 (550万円)

災害時の基幹避難所となっているコミュニティセンターに非常用発電機を設置するための実施設計費用。令和8年度は設計、令和9年度に設置工事を予定 (全6館のうち3館づつ)。



設置予定の非常用発電機

### ● シェアキッチンの管理運営 (617万円)

駅前の新たな賑わいづくりとして、産業情報プラザの1階を改修し、屋内2部屋+屋外キッチンカー2台分のシェアキッチンを整備。同スペースの管理運営を委託します。



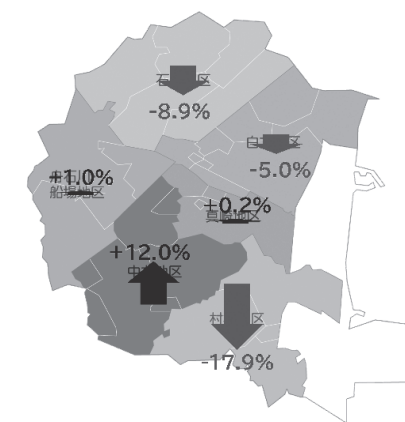
キッチンカーの設置場所

## CHECK! 省エネ家電導入の補助要件を見直し

これまで高効率な省エネ家電 (エアコン・冷蔵庫) を購入する際の対象機器は「4つ星以上」という要件でしたが、令和8年度は「省エネ基準達成率100%以上」に緩和し、補助制度をより利用しやすい環境に改善しました!



## 人口推移の地域偏在が浮き彫りに



▲小学校区ごとの10年前との人口増減率

東海村の人口は約37,800人であり、ここ10年でほぼ横ばいで推移しています。県北の他自治体では急激な人口減少に直面し苦戦するなか、本村は何とか現状を維持している状況です。

しかし、ここ10年間の人口増減を地域毎に比較すると、中丸学区のように12%増加している地域がある一方で、石神学区や照沼学区などでは大きく減少しており、村内における人口推移の地域偏在が改めて浮き彫りになりました。

こうした不均衡は、学校の適正規模の維持、地域コミュニティの存続、さらには公共施設の配置など深刻な歪みをもたらすことから、村内での居住誘導政策など、地域偏在を解消する必要があります。